

# 衆議院法務委員会ニュース

【第 200 回国会】令和元年 11 月 6 日（水）、第 5 回の委員会が開かれました。

- 1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件  
・森法務大臣、義家法務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。  
(質疑者) 伊藤忠彦君（自民）、浜地雅一君（公明）、串田誠一君（維新）

(質疑者及び主な質疑事項)

## 伊藤忠彦君（自民）

- (1) 弁護士をしていた当時の森法務大臣が金融庁に入庁した理由
- (2) 大臣就任に当たっての法務大臣の決意
- (3) 2020 年に京都で開催される第 14 回国際連合犯罪防止刑事司法会議（京都コングレス）に向けた法務大臣の決意
- (4) 「世界一安全な国、日本」の実現に向けた法務大臣の決意

## 浜地雅一君（公明）

- (1) 法務省としての災害対応への取組についての法務大臣の所見
- (2) 司法外交
  - ア 我が国における国際仲裁の活性化に向け、ユーザーとなる経済界への広報活動の推進についての法務大臣の決意
  - イ 開発途上国等に対する法制度整備支援の今後の更なる推進への取組
  - ウ 法令外国語訳整備事業において司令塔となる官民会議体の立ち上げの経緯及び同会議体において取り上げて解決されるべき課題

## 串田誠一君（維新）

- (1) 児童虐待対策
  - ア 昨日の大臣挨拶の冒頭で、児童虐待防止対策を取り上げた法務大臣の思い
  - イ 大臣挨拶において、児童の権利条約に言及しなかった理由
  - ウ 本年 2 月に国連児童の権利委員会から勧告を受けている我が国が、他の国に法の支配を実現するための法整備支援に関する研修を行うことの当否についての法務大臣の見解
  - エ 児童相談所への一時保護に関する検証システムの構築の必要性についての法務大臣の見解
  - オ 一時保護により義務教育を受けられなくなることについての法務大臣の見解
  - カ 子どもの保護と子どもに教育を受けさせることのバランスの取り方についての法務副大臣の見解
- (2) 法律婚と事実婚と間における子どもの養育への父母の関わり方の差異の有無についての法務大臣の見解
- (3) 強姦性交等罪と強制わいせつ罪における暴行・脅迫要件の見直しの方向性についての法務大臣の見解
- (4) 児童虐待防止のためにえん罪が生じてもやむを得ないと考えるか否かについての法務大臣の見解
- (5) 刑務所における作業内容と再犯率の関係に関する調査研究の必要性についての法務大臣の見解